

足利市合併処理浄化槽設置補助金 工事写真 記載例

令和2年3月現在

工事用黒板に写真撮影日時を記載して、撮影する。



- ・工事年月日を入れた工事用黒板を入れて写す（黒板には、写真を現像した状態で読める大きさで、日付を記載する）。
- ・監督する浄化槽設備士の顔が見えるよう、正面を向いて写す。
- ・浄化槽法別記様式第8号及び第9号で定める標識板を掲げる。

① 着工前(監督した浄化槽設備士)



- ・底部からの高さが確認できるよう、スケールで示す。
- ・地盤や周辺状況に応じて、崩落防止対策（土留め等）を講じ作業員の安全を確保する。

② 掘削工事(床付けの完了状況)



- ・基礎砕石を行ったことが分かり、底部からの厚みが確認できるようスケールで示す。
- ・砕石、捨てコンクリート、基礎底版コンクリートの厚さ、配筋は次のとおりとする。

底辺土質		厚さ又はピッチ
切込み砕石		100mm 以上
捨てコンクリート		50mm 以上
底板 コンクリート	コンクリート	100mm 以上
	配筋	D10-@200 (シングル)

③ 基礎砕石敷設転圧工事状況



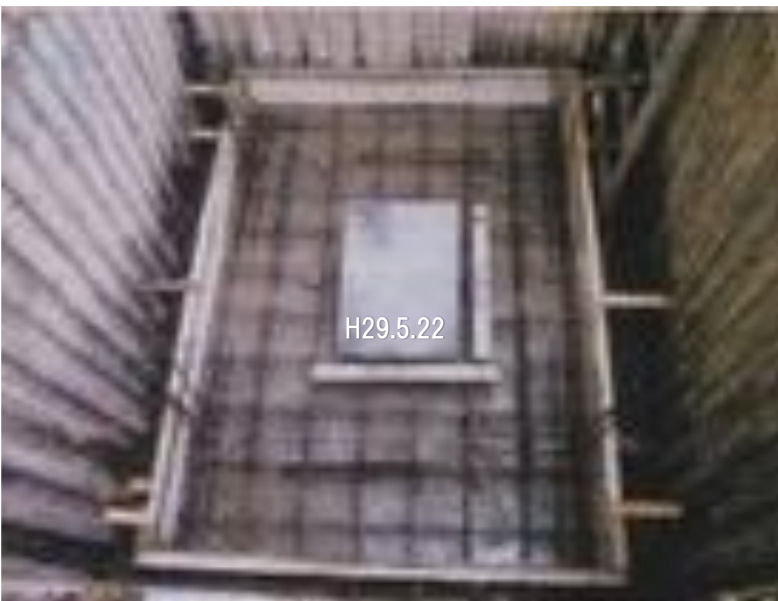
- ・基礎碎石の厚みが確認できるようスケールで示す。

④ 基礎碎石(厚み確認)



- ・捨てコンクリートの厚みが確認できるようスケールで示す。

⑤ 捨てコンクリート打設(厚み確認)



- ・配筋ピッチが確認できるようスケールで示す。

⑥ 基礎底版コンクリート配筋



- ・底板コンクリートの厚み、幅、長さが確認できるようにスケールで示す。
- ・底板コンクリートの大きさは、浄化槽外形寸法以上とする。

⑦ 基礎底板コンクリート打設



- ・本体の型式、メーカー名が確認できるように写す。(申請書記載の型式)

⑧ 浄化槽搬入



- ・本体が水平に据付られていることが確認できるように写す。

⑨ 浄化槽据付け



- 水張り用ホースとともに、水張りの様子を写す。

⑩ 水締め埋め戻し



- つき固めの様子を写す。

⑪ 埋め戻しつき固め



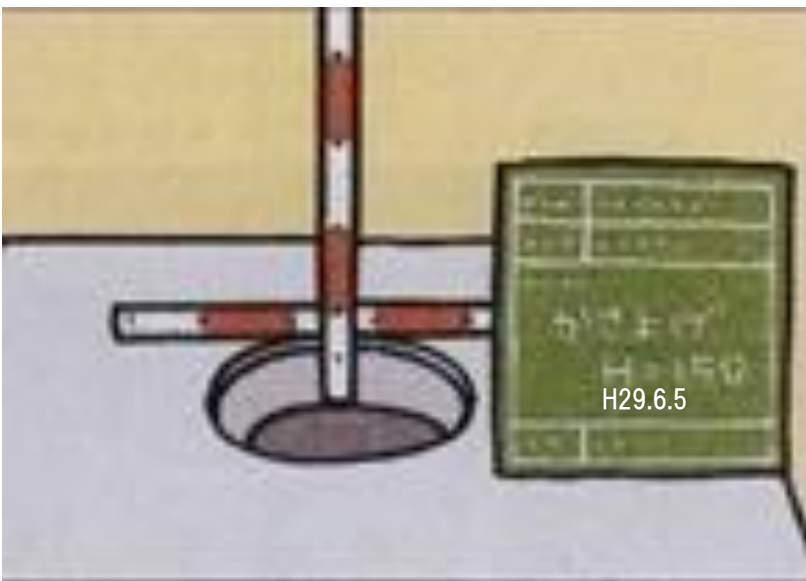
- 配筋ピッチが確認できるようスケールで示す。
- 鉄筋は、D10-@200 シングルとし、コンクリートの厚みは、100mm～150mm とする。

⑫ 上部スラブ配筋



- ・上部スラブの幅、長さが確認できるようスケールで示す。

⑬ 上部スラブコンクリート打設



- ・嵩上げ高さが確認できるようスケールで示す。
- ・嵩上げは、30cm以内とし、それ超える場合は、ピット構造とする。

⑭ 嵩上げ状況



- ・監督した浄化槽設備士の顔が見えるよう、正面を向いて写す。

⑮ 工事完了写真(監督した浄化槽設備士)



・設置したブロワの写真を写す。

⑯ ブロワ設置状況

※ポンプ設備を設置した場合、その写真も添付する。

※既設単独処理浄化槽を撤去及び処分(補助金を交付する場合)し、合併処理浄化槽を設置する場合、

- ① 既設単独処理浄化槽の設置が確認できる写真、撤去状況写真(浄化槽引上げ・埋戻し等)
- ② 宅内配管(浄化槽への流入管、ますの設置、浄化槽から側溝までの放流管)の施工前、施工中、施工後の状況写真をそれぞれ添付する。